

- 問1 東北地方における各都市の気候の差異について述べた次の説明のうち、太平洋側に位置する仙台市の状況を正しく示しているものはどれですか。
。（2020年 新潟県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 日本海を渡る湿った季節風が直接吹き込むため、一月の平均気温が零度前後となり、冬に大量の雪が降る。 | 2. 季節風の影響をほとんど受けない盆地特有の気候であり、夏は非常に高温になる一方、冬は氷点下まで冷え込み、降水量は年間を通して一定である。 | 3. 冬の季節風が奥羽山脈を越えて吹き下ろす際、乾燥した空気となるため、日本海側の地域に比べて冬の降水量が少なくなる。 | 4. 北からの寒流である親潮の影響を強く受け、一月の平均気温が零度を大きく下回り、夏も二十度を越えない日が続く。 |
|---|--|---|--|
- 問2 東北地方のある地点の気候統計において、12月と1月の降水量が200mmを超えて年間で最も多く、夏よりも冬の降水量が多いという特徴が見られる場合、その地点の場所と気候区分の組み合わせとして最も適切なものはどれですか。
。（2019年 富山県公立入試 類似）
- | | | | |
|-----------------------|----------------------|--------------------|----------------------|
| 1. 宮城県の仙台平野 — 太平洋側の気候 | 2. 岩手県の沿岸部 — 太平洋側の気候 | 3. 北海道の東部 — 北海道の気候 | 4. 山形県の内陸部 — 日本海側の気候 |
|-----------------------|----------------------|--------------------|----------------------|
- 問3 青森県と秋田県の県境にまたがる地域に位置し、世界でも最大級の規模でブナの原生林が残されていることから、1993年に日本で初めて世界自然遺産に登録された山地の名称を答えなさい。
。（2023年 三重県公立入試 類似）
- | | | | |
|-----------|--------|---------|-------|
| 1. 日本アルプス | 2. 屋久島 | 3. 白神山地 | 4. 吉野 |
|-----------|--------|---------|-------|
- 問4 秋田県大湯村の農業統計を全国平均と比較すると、農家一戸あたりの耕地面積が数十倍に達しており、それに伴い一戸あたりの農業産出額も非常に高い数値を示しています。このように、大湯村で大規模な機械化農業が可能となった背景として、最も適切な説明はどれですか。
。（2022年 香川県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 都市近郊に位置することを活かし、ビニールハウスを用いた野菜の生産に特化したため。 | 2. 山間部の傾斜地を整備し、果樹栽培を中心に少人数で効率的な作業を行ったため。 | 3. 伝統的な零細経営を維持しながら、複数の農家が共同で一つの土地を耕作したため。 | 4. 湖を干拓して造成された広大で平坦な土地を活かし、計画的に入植が行われたため。 |
|---|--|---|---|
- 問5 東北地方の夏期の気温分布を調べた統計資料において、8月の月平均気温を比較すると、太平洋側の都市よりも日本海側の都市の方が高くなる傾向が見られます。この要因の一つとして、太平洋側から吹く冷たく湿った風が奥羽山脈を越える際、日本海側へ乾燥した高温の風となって吹き下ろすことが挙げられます。この現象を何と呼びますか。
。（2014年 愛媛県公立入試 類似）
- | | | | |
|-----------|--------|--------|---------|
| 1. フェーン現象 | 2. やませ | 3. 季節風 | 4. 上昇気流 |
|-----------|--------|--------|---------|
- 問6 東北地方の各県を比較した統計において、人口が約233万人と最も多く、製造品出荷額（約4.1兆円）や年間商品販売額（約1.2兆円）においても東北地方で最大の値を示している県はどこか。
。（2021年 茨城県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 福島県 | 2. 青森県 | 3. 岩手県 | 4. 宮城県 |
|--------|--------|--------|--------|
- 問7 冬の降水量について、日本海側に位置する秋田市が、太平洋側に位置する宮古市よりも顕著に多い理由として最も適切な説明はどれですか。地形と風の影響に着目して選びなさい。
。（2026年 福岡県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--------------------------------------|--|---------------------------------------|
| 1. 夏に吹く南東の季節風が奥羽山脈に遮られ、日本海側でフェーン現象が起こるため | 2. 湿った北西の季節風が奥羽山脈にぶつかり、日本海側に雪を降らせるため | 3. 冷涼な北東風であるやませが奥羽山脈を越え、日本海側に水分をもたらすため | 4. 暖流の対馬海流の影響で上昇気流が発生し、奥羽山脈の西側で雨が降るため |
|--|--------------------------------------|--|---------------------------------------|
- 問8 東北地方の地方中枢都市として機能し、周囲の自治体から通勤・通学者が多く流入するために昼間人口割合が100%を超えている一方、大規模な重化学工業地域を持たないため工業製造品出荷額が比較的に少ない政令指定都市はどこですか。
。（2025年 熊本県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------|--------|-------|--------|
| 1. 京都市 | 2. 広島市 | 3. 堺市 | 4. 仙台市 |
|--------|--------|-------|--------|
- 問9 東北地方北部の地図において、青森県と秋田県の境に位置する地域が示されている。この地域にある山地の特徴として最も適切なものはどれか。
。（2024年 青森県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 人為的な影響をほとんど受けていない世界最大級のブナの天然林が分布し、世界自然遺産に登録されている。 | 2. 東北地方の中央を南北に走り、日本の背骨とも呼ばれる山脈として気候の境界線となっている。 | 3. スギの人工林が広がり、「秋田杉」や「青森ヒバ」の産地として林業が盛んに行われている。 | 4. 冬には流水が接岸し、海と陸の独自の生態系を持つことから世界自然遺産に登録されている。 |
|--|--|---|---|
- 問10 東北地方の工業に関する統計において、製造品出荷額の構成比を確認すると、金属工業が21.3%、化学工業が16.4%であるのに対し、約4割にあたる39.9%を占めて最大となっている産業部門を選択してください。
。（2019年 福岡県公立入試 類似）
- | | | | |
|------------|----------|---------|---------|
| 1. パルプ・紙工業 | 2. 食料品工業 | 3. 繊維工業 | 4. 機械工業 |
|------------|----------|---------|---------|
- 問11 東北地方に位置する6つの県のうち、県名と、その行政の中心地である県庁所在地の名称が異なっている県の組み合わせとして正しいものを、次の中から選びなさい。
。（2019年 富山県公立入試 類似）
- | | | | |
|------------|------------|------------|------------|
| 1. 岩手県と福島県 | 2. 山形県と福島県 | 3. 岩手県と宮城県 | 4. 青森県と秋田県 |
|------------|------------|------------|------------|
- 問12 夏に発生する冷たく湿った北東風（ヤマセ）などの影響により、7月における霧の発生日数が多い特徴を持つ、東北地方の都市の名称として適切なものはどれですか。
。（2025年 熊本県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 青森市 | 2. 盛岡市 | 3. 秋田市 | 4. 仙台市 |
|--------|--------|--------|--------|
- 問13 東北地方の太平洋側では、夏季にオホーツク海高気圧から吹き込む冷たく湿った北東の風の影響により、気温が上がらず稲などの作物の生育が妨げられる現象が起こることがあります。この風の名称と、この気象災害による被害を抑えるために農業試験場などで長年行われてきた取り組みの組み合わせとして正しいものはどれですか。
。（2026年 沖縄県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------------------------|-----------------------------|----------------------------|----------------------------|
| 1. やませ — 低温でも育ちやすい稲の品種改良 | 2. 季節風（モンスーン） — 温室を利用した促成栽培 | 3. フェーン — かんがい施設の整備による干害対策 | 4. からっ風 — 防砂林の設置による土壌流出の防止 |
|--------------------------|-----------------------------|----------------------------|----------------------------|